

## 【実践報告 2】

### 全学入学前教育プログラム

## 平成 26 年度 明星大学「入学前教育プログラム」実施報告

太 田 昌 宏<sup>\*</sup>

### 1. はじめに

明星大学が年内入試の入学予定者を対象とする「全学入学前教育プログラム」を実施する目的は以下の 3 点である。

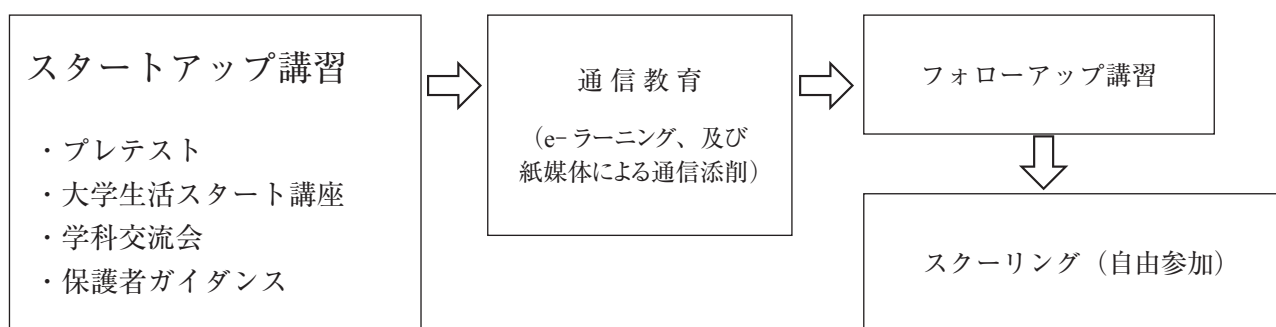
- (1) 大学生活への夢を膨らませる
- (2) 学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を向上させる
- (3) 学び続けることの重要性を認識させる

明星教育センターは、上記の目的を達成するため、「全学入学前教育プログラム」の中核となる「スタートアップ講習」を 3 日間、実施した。ここでは、平成 26 年 11 月 16 日・12 月 14 日・12 月 21 日に実施した 3 回の「スタートアップ講習」の実施結果について報告する。

### 2. 明星大学のサポート体制

明星大学における「全学入学前教育プログラム」は、「スタートアップ講習」、「通信教育」、「フォローアップ講習」、「スクーリング」という 4 つのサポート体制で構成されている。このサポート体制の全体像を図解すると次のようになる。[図 1]

図 1



「スタートアップ講習」に参加した入学予定者には、上記の 4 つサポート体制について説明すると共に、「プレテスト」・「大学生活スタート講座」・「学科交流会」を 1 日で体験することを伝えた。

平成 26 年度、3 回実施した「スタートアップ講習」の日程と対象者は次の通り。[表 1]

<sup>\*</sup> 明星教育センター 特任准教授

表1 「入学前教育プログラム」対象者

回数	日程	対象者
1	平成26年11月16日(日)	AO入試9月・10月合格者
2	平成26年12月14日(日)	指定校推薦入試／公募制推薦入試
3	平成26年12月21日(日)	AO入試12月合格者／明星高校特別選抜入試／卒業生子女特別選抜入試／スポーツ・文化活動特別推薦入試

### 3. 「プレテスト」・「大学生活スタート講座」・「学科交流会」の内容

午前中に「プレテスト」、午後に「大学生活スタート講座」と「学科交流会」を実施した。それぞれの時間配分と内容は次の通り。[表2]

表2 「プレテスト」・「大学生活スタート講座」・「学科交流会」1日の流れ

時間	時間配分	内容
10:00～10:30	30分	プレテストについての説明
10:40～11:40	60分	プレテスト(英語・国語)
11:40～12:50	70分	昼休み
12:50～14:20	90分	大学生活スタート講座
14:30～16:00	90分	学科交流会

12月14日(日)のみ下記のスケジュールで進行したクラスもあった。

時間	時間配分	内容
10:00～11:30	90分	大学生活スタート講座
10:40～12:40	70分	昼休み
12:40～13:10	30分	プレテストについての説明
13:20～14:20	60分	プレテスト(英語・国語)
14:30～16:00	90分	学科交流会

以下、「プレテスト」、「大学生活スタート講座」、「学科交流会」の内容について詳述する。

#### (1) プレテスト

平成26年度より通信教育にe-ラーニングを導入したため、「プレテスト」もe-ラーニングで実施した。当日は10時から事前説明を開始。ガイドブックの「今日の予定」を示しながら「プレテスト」、「大学生活スタート講座」、「学科交流会」の内容と目的について説明した。その後、e-ラーニングによる通信教育の実施方法、ログイン方法、及びパソコン操作によるテストの解答方法等について説明した。「プレテスト」は、10時40分から11時40分までの1時間で2教科(英語・国語)の試験を実施した。

#### (2) 大学生活スタート講座

次の予定表に沿って、グループ学習の形式で授業を進めた。[表3]

表 3 大学生生活スタート講座の流れ

時間	内容	担当教員
	挨拶・説明 グループ確認 (10 分)	・簡単に挨拶をする。 ・全学入学前教育の全体像について、説明する。
	自己紹介 (10 分)	・ガイドブックの座席表にグループメンバー全員の名前を記入させる。 ・ガイドブックの自己紹介シートを説明し、記入させる。 ・グループごとに自己紹介をさせる。
	「大学生準備度」を チェックしよう (30 分)	・ガイドブックの大学生準備度チェックに記入させる。 ・「明星大生になるまでに」を読んで、ガイドブックの質問に回答を記入させる。 その後、グループ内で発表させる。 ・メンバーの意見を聴いての感想を記入させ、グループ内で発表させる。
	通信教育ガイダンス 通信教育担当： (株) WAO コーポレーション (20 分)	・WAO 担当者と交替する。 ・通信教育の意義、大学入学までに必要な学習内容を話してもらう。 ・担当教員がガイドブックを使ってフォローアップ講習とスクーリングについて説明する。
	校歌を歌えるように しよう (13 分)	・CD に合わせた合唱部の歌を聞いた後、新入生全員を起立させる。 ・2 回目の CD に合わせて新入生も歌うように指示する。
	振り返り (7 分)	・講座の振り返りを書くように指示する。 ・時間があればグループで共有させる。

「大学生生活スタート講座」の各項目の具体的な内容を次に示す。

#### ① 挨拶・説明

グループ学習のため 4 人一組のグループを作った。ガイドブックの該当ページを示しながら、「大学生生活スタート講座」を実施する目的を説明し、明星大学入学までに何をしておくといいのかについて考え、グループで話し合うという講座の方向性を示した。

#### ② 自己紹介

ガイドブックの「自己紹介シート」で、4 つの質問に対する各自の答えを考えさせた。各自がシートに書きこんだところで、グループ内で順番に発表させた。

#### ③「大学生準備度」をチェックしよう

「大学生準備度」を入学予定者が把握するための「チェックリスト」を使った演習を行った。この演習の目的は、入学予定者が入学後の大学生活をイメージすること、及び現在の生活を振り返って自分を客観視させることである。

「チェックリスト」は「はい」か「いいえ」で答える 12 の質問からなる。質問の内容は、「生活習慣」、「コミュニケーション」、「学習習慣」、「大学生活への理解」という 4 種類で構成した。質問へ解答してもらった後、「明星大学になるまでに」というプリントを配布し、「チェックリスト」がどのような主旨で作成されているかを説明した。さらに考えを深めさせるため、「チェックリスト」に関連する 3 つの質問に解答してもらい、グループ内で共有させた。

#### ④ 通信教育ガイダンス

「通信教育」担当の(株) WAO コーポレーションの講師が、「通信教育」の日程や科目、e-ラーニングへの取り組み方等について説明した。「通信教育」では、参考書や辞書を使って調べたり、高校の先生に質問したりして問題を解いてもよいこと等を伝えた。

#### ⑤ 校歌を歌えるようにしよう

まず 1 回目として、CD で「明星大学校歌」の演奏を流しながら合唱部の学生たちが歌った。合唱部のリーダーが、入学予定者に対して、歌い方のワンポイント・アドバイスをした後、2 回目は、入学予定者にも起立してもらい、

学生スタッフを含め全員で校歌を歌った。

#### ⑥ 振り返り

大学生生活スタート講座を受講して気づいたことを「振り返り」として入学予定者に書かせた。その後、再び、グループ内で各自が書いたことを発表し、意見交換をさせてまとめとした。

### (3) 学科交流会

大学生生活スタート講座の終了後、入学予定者を学部・学科別の教室に誘導した。そこで、各学科の担当教員による授業や、その説明を行った。交流会の時間は学部・学科によって異なるが、概ね45～90分の間で実施した。学科交流会を別の日程で実施予定の3学科「福祉実践学科」、「心理学科」、及び「教育学科」については、明星教育センターの教員が担当した。以下、明星教育センターの教員が担当した学科交流会の内容を示す。[表4]

表4 学科交流会の流れ

時間	所要	内容	方法
14:30 14:35	5分	全体説明	学科交流会の流れについて説明する。
14:35 14:50	15分	在学生のスピーチ (2名～3名)	在学生(2～3人)がスピーチを担当し、自分の大学生生活の体験談や入学予定者へのアドバイスなどを話す。
14:50 15:10	20分	質疑応答	在学生のスピーチの内容について、入学予定者から質問してもらい、その質問に在学生から答えてもらう。
15:10 15:25	15分	「入学前教育プログラム」 アンケート(2種類)	アンケートを実施。時間を10～15分程度とり、最初に「スタートアップ講習」に対する意見、感想を200字でしっかり書くように指示する。

## 4. 「スタートアップ講習」入学予定者の参加状況

3日間の平均で86.8%の参加率となり、入学予定者にとっての大学生生活への関心が高いことが読みとれる。[表5]

表5 当日の出席者数と参加率

回数	日程	対象者	当日の出席者	参加率
1	平成26年11月16日(日)	373名	339名	90.8%
2	平成26年12月14日(日)	460名	413名	89.8%
3	平成26年12月21日(日)	185名	131名	70.8%
	合計	1,018名	883名	86.8%

## 5. 入学予定者へのアンケート状況

授業アンケートは、「スタートアップ講習」の全受講者に対して行った。

具体的な感想としては、「大学でやりたいことを見つけられました。楽しみが増えたので、早く入学したいです」、「プレテストを受けて、自分の勉強のできなさを自覚させられたので、これからは課題をきちんとやって基礎学力をつけたい」、「入学までまだ時間があるので、入学後つまずくことなく楽しい大学生生活が送れるように、家庭学習習慣を身につけ、自覚をもった生活を心がけたい」などの記述があった。

このことから、「大学生活への夢を膨らませる」、「学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を向上させる」、「学び続けることの重要性を認識させる」という全学入学前教育プログラムの目的を一定程度、達成したと思われる。

## 6. 平成 25 度との変更点

平成 25 年度と大きく変更した点は、通信教育における e-ラーニングの導入である。平成 26 年度は、国語・論作文のみを紙媒体の通信添削とし、他の科目（英語、数的処理・理系数学、物理、化学、力学）については、e-ラーニングで行っている。e-ラーニングを導入した理由は次の通りである。

- ・プレテストと全課題終了後の修了テストから習熟度を把握できる。また、学習の効果があったかどうかを測定することが可能となる。
- ・音声や動画での分かりやすい解説、飽きさせないコンテンツで学習意欲を向上させられる。
- ・意欲のある生徒は、何度も繰り返し学習できる。
- ・学習への取り組みに関する進捗状況がリアルタイムでわかるので、質問対応、激励の電話、激励のメール等、効果的なサポートが可能となる。また、各学科においても、進捗状況を把握できる。

先述の通り、「スタートアップ講習」の「プレテスト」は、e-ラーニングで行った。パソコンを操作して解答することに対し、入学予定者にあまり抵抗はなく、テスト自体は特に問題なく実施できた。現在、紙媒体と e-ラーニングの併用による通信教育に、入学予定者は取り組んでいる。e-ラーニングが意図した通りの成果をあげたかどうかについては、通信教育終了後、e-ラーニングに関する入学予定者へのアンケート結果や、e-ラーニングに対する入学予定者の取り組み状況等を見極めた上で判断したい。

## 7. 今後について

e-ラーニングの導入という大きな変更があったにもかかわらず、「スタートアップ講習」は特に問題なく実施できる形式と内容になったとの見方もできる。しかし、改善できる余地はまだまだあると思われるので、今後、さらなる検討を加えたい。

以上